

行發日一月一十... (Publication details)

天氣豫報... (Weather forecast)

成吉思汗は義経也

市線故者の著者小谷部氏 赤井 嶽 男

七百年の歴史を巧妙なる自分も新聞廣告によつて...

たそがれの河面

野地たかし

港に近いこの河の静かなる水は...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

静かなる水は、静かに河面をのぼる...

言葉の滴

北村 淑夫

さしたる観念に提はれる必要は少しも無い、自由...

秋の雑詠

須田 利雄

○もの陰の今頃は小暗き百草の群る片へ...

○果のみの熟るる頃よりことさらに秋と思ひて...

○時計裏と同じときを指しめたる吾が腕時計に...

○皮むける刃物の柄よりしたたる梨のしづく...

○吾が陰の梨のしづくを音たててすすりても見...

○友もあしあせり

○友もあしあせり

○友もあしあせり

○友もあしあせり

○友もあしあせり

○友もあしあせり

切れまわね、それより却て一先づ中へお隠れなす...

「奥の押入れ...」 「その刑部様も、あれから...

「は、早く...」 「抑へつけやうな其兵衛...

「何、隠した？」 「それが、隠すところと申...

「逃がしたと申すのか？」 「申す所、御座りませぬ...

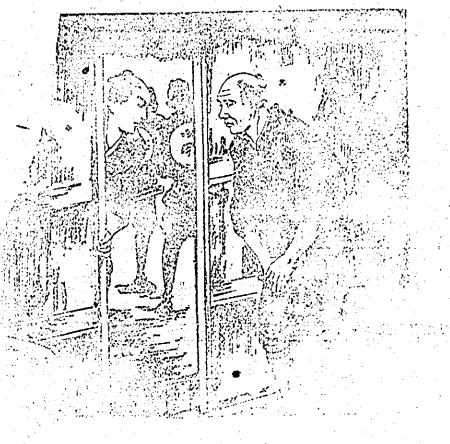
「減相も無い、爺が何故？」 「黙れ、下手人を匿まへば...

「御座りませぬ、御座りませぬ、御座りませぬ...

「御座りませぬ、御座りませぬ、御座りませぬ...

「御座りませぬ、御座りませぬ、御座りませぬ...

「御座りませぬ、御座りませぬ、御座りませぬ...



「開けろ！」 「開けろと踏み破るぞ...

互融會事業近況... 石炭値上御通知... 阿部石炭店...

高久病院... 山崎合名會社... 山崎生命代理店...

物事は徹底的に 今回行はれた国民精神... 労働局長代表百餘名 五日入山自治会館で開催

教育部會總集 昨日第一校講堂で 平市を含む最終の會同

記念貯金三千圓 昨日の世界勤儉デーに 平局の窓口賑ふ

市民は進歩せよ 明治節奉祝の時間 奉祝の時間として各家

警官小異動 練習所を設立す速成巡査の 振奮及び巡査部長昇進

西郷君は神谷出身 (平商) 2 遊藤正壽 (警) 氏次男村田上等兵西郷勉

警備武道大會 四氏に分賞 三十一日市内金坂道場

防務施設陳情 市内胡麻東北化学工業所の 防務問題に關し荒井善造

東京で捕はる 二百兩持逃げ助手 片倉製菓製菓會社

君國の爲難戰苦闘 御期待に背かり覺悟 支那兵は〇〇〇萬は如何なる難戰

漁夫海中に消ゆ 小倉濱町中津太田豊太郎方 (警) 同入妻吉三三小林清

至急募集 工場員 各一名 希望者ハ履歴書持參

横田父子 佐藤治郎も 市役所水道部の鐵管を窃取

昭和人絹錦工場 従業員募集 男十六才... 女十三才

大和田醫院 平市南町一六番地 (入院隨應) 電話一七〇番

御知らせ 味の江戶前、種は江戶から... 御用命願ひます

吉岡眼科 眼科 電話二二三番

北川外科 平市新川 希望者ハ履歴書持參

玉屋眼鏡店 平市二丁目 自覺視力試験の設備が御座います

大和田醫院 平市南町一六番地 (入院隨應) 電話一七〇番